

ダイアナ妃の悲劇的な不慮の死は、全世界をゆるがせた。一個人の死という点では、同情を禁じ得ないが、なぜこうも全世界が親友の死に出合ったかのよう騒ぐのであろうか。マスコミはこの報道と記事でいっぱいになり、巷もこの話でもちきりであった。私にとっては、現代の御伽噺の中の悲劇としか見えないのだが、多くの人にとってはそうではないらしい。ダイアナ妃が、マスコミによって創られた女性のアイドルであったことは否めないし、確かに魅力的な女性であったと思う。また、玉の輿的な華々しい結婚式とその後のスキャンダル、そして離婚と言う、英国王室を舞台にしての波瀾万丈の短い一生が、「事実は小説より奇なり」と言う表現がぴったり当てはまるほど、人々の心を動かし、葛藤した姿に、多くの女性が同情と哀惜を寄せる気持ちも分かる。でも、所詮は、虚構の世界の話で、彼女がそれに気づいて、地雷禁止条約のような現実の問題に自分の存在価値を見出そうとした矢先に事故死してしまったのである。もし彼女が死なずに、ジャクリーン・オナシスのような一生を辿ったとしたら、どうであらうか。アイドルもきっと地に落ちていたことであらう。悲劇のヒロインの死というロマンチズムに酔っている人が余りに多すぎるような

気がする。マザー・テレサの死もダイアナ妃の死の陰で色褪せてしまったように見えるし、毎日何千いや何万という無名の人々が、餓死したり、災害や戦争で命をなくしているのである。人間の命の価値がこんなに違っていいものだろうか。パパロッチと呼ばれる低俗新聞や雑誌の記者達の無謀ぶりは確かに目に余るものがあるが、彼らの書く記事を貪って読む大衆の側にも責任があると言わざるをえない。これも現代の御伽噺への逃避かもしれない。次のアイドルは誰であろうか。紀元二千年に後二年と少しになった。ここにも世紀末の現象の一つを見る思いがするが、穿ちすぎた見方であろうか。

太田徳夫

トロントにて

1997年9月9日

[語彙]

妃	ひ	princess
悲劇的(な)	ひげきてき	tragic
不慮	ふりよ	sudden and violent
死	し	death
全世界	ぜんせかい	whole world
ゆるがせる		shake
個人	こじん	individual
点	てん	aspect, point
同情(する)	どうじょう	sympathy, compassion
禁じる	きんじる	prohibit
得る	える	acquire

親友	しんゆう	close friend
騒ぐ	さわぐ	get excited about
報道(する)	ほうどう	report
記事	きじ	article
巷	ちまた	in the streets
もちきり		preoccupied
現代	げんだい	present-day
御伽噺	おとぎばなし	fairy tale
悲劇	ひげき	tragedy
創る	つくる	create
女性	じょせい	women
否めない	いなめない	cannot deny
確か(に)	たしか	certainly
魅力的(な)	みりよくてき	attractive
玉の輿	たまのこし	woman marrying far above
華々しい	はなばなしい	splendid
結婚式	けっこんしき	wedding
離婚(する)	りこん	divorce
英国	えいこく	England
王室	おうしつ	Royal Household
舞台	ぶたい	stage
波乱万丈	はらんばんじょう	stormy
短い	みじかい	short
一生	いっしょう	whole life
事実	じじつ	fact
小説	しょうせつ	novel
奇(なり)	き	stranger
事実は小説より奇なり。		Truth is stranger than fiction.
表現	ひょうげん	expression
当てはまる	あてはまる	fit, apply
伝統	でんとう	tradition
桎梏	しっこく	fetters
普通	ふつう	ordinary
人間	にんげん	human being
喜ぶ	よろこぶ	be glad
悩む	なやむ	be troubled

葛藤 (する)	かつとう	trouble
姿	すがた	figure
哀惜(する)	あいせき	grief, sorrow
寄せる	よせる	send
気持ち	きもち	feeling
所詮	しょせん	after all
虚構	きょこう	fiction
地雷	じらい	mine
禁止(する)	きんし	prohibit
条約	じょうやく	treaty
現実	げんじつ	reality
問題	もんだい	problem
存在	そんざい	existence
価値	かち	value
見出す	みいだす	find out
矢先(に)	やさき	just as
事故死(する)	じこし	die in an accident
辿る	たどる	follow, trace
酔う	よう	be intoxicated
余り(に)	あまり	too
陰	かげ	shadow
色褪せる	いろあせる	fade
無名	むめい	unknown
餓死(する)	がし	starve to death
災害	さいがい	disaster
戦争	せんそう	war
命	いのち	life
違う	ちがう	be different
呼ぶ	よぶ	call
低俗(な)	ていぞく	vulgar
雑誌	ざっし	magazine
記者	きしゃ	reporter
無謀(な)	むぼう	reckless
確か(に)	たしか	certain
目に余る	めにあまる	unpardonable
貪る	むさぼる	indulge in

大衆	たいしゅう	general public
側	がわ	side
責任	せきにん	responsibility
逃避(する)	とうひ	escape
紀元	きげん	era
世紀末	せいきまつ	end of the century
現象	げんしょう	phenomenon
穿つ	うがつ	read too much

© Norio Ota 2005